

赤潮情報第76号 (八代海：シャットネラ属 警報続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

八代海で発生しているシャットネラ属は減少傾向です。

本日、熊本県と天草市水産研究センターが八代海を調査したところ、シャットネラ属が海水1mL 当たり最高4細胞(球磨川分流の前川河口沖、上天草市干切漁港沖)で、八代海で発生しているシャットネラ属は減少傾向であることが確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

しかし、先日来の降雨により河川から栄養塩が供給されており、八代海北部では依然として数細胞が確認されていますので、今後の天候次第で再び細胞数増加に転じる恐れがあります。

周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意して下さい。

なお、コクロディニウム ポリクリコイデスは八代港内港で海水1mL 当たり4細胞が確認されましたが、他の調査点では確認されませんでした。

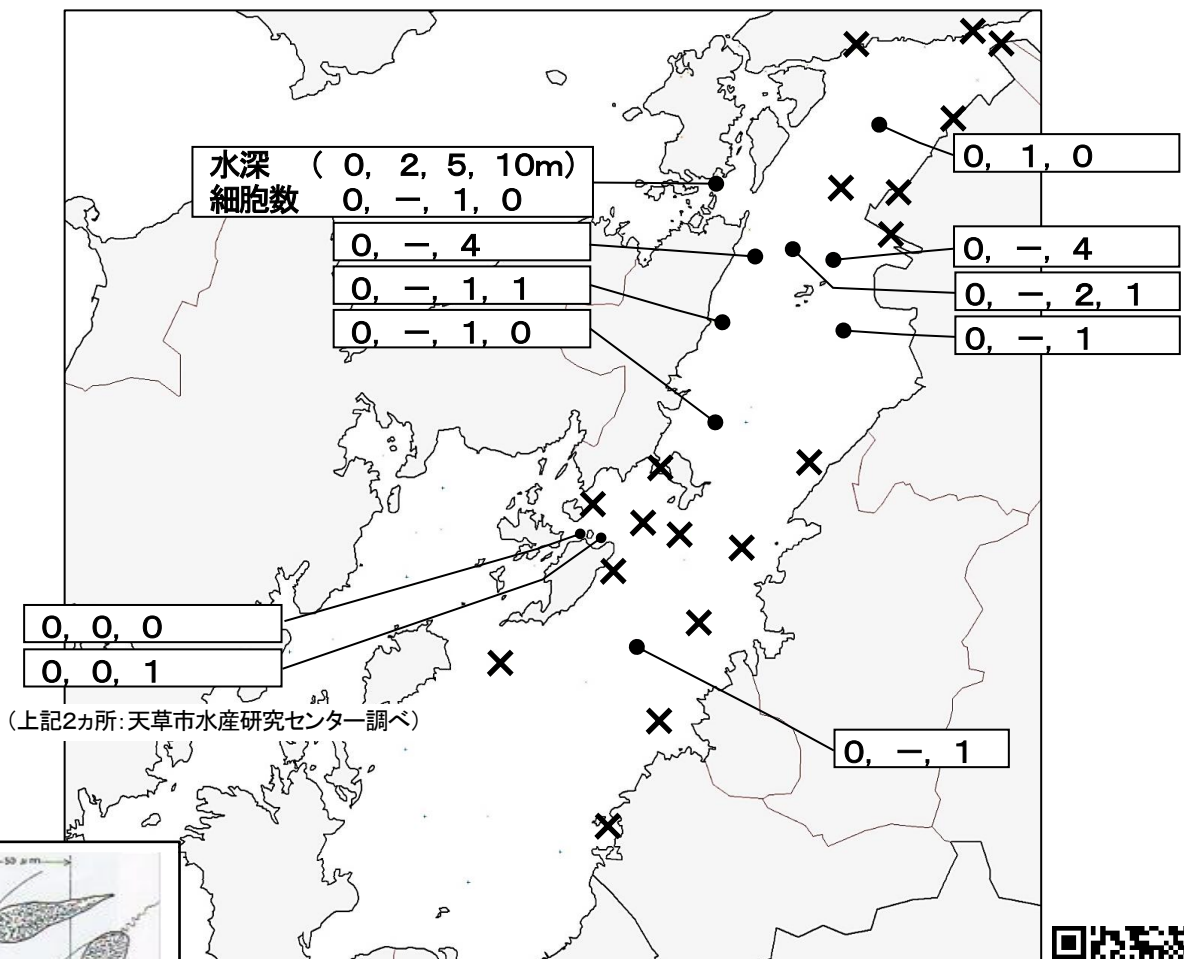


図 調査定点

※図中の数字は、左から順に水深0m, 2m, 5m, 10mのシャットネラ属の海水1mL 当たりの細胞数です。

※シャットネラ属による着色域は確認されませんでした。

※一印 : 未調査

※×印 : 0細胞(調査定点により細胞数は異なります)

